

研究課題名	MRI を用いた骨髓異形成症候群と再生不良性貧血の鑑別：深層学習とマルチパラメトリック MRI の比較試験
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科 放射線診断学研究室 教授 栗井 和夫
研究期間	2019年8月23(倫理委員会承認後)～2021年3月31日
対象者	平成22年4月から令和2年3月の間に、広島大学病院放射線診断科、広島赤十字・原爆病院、安佐市民病院、広島西医療センター、呉医療センター・中国がんセンター、中国中央病院で腰椎MRI検査を受けられた患者。
意義・目的	骨髓異形成症候群（MDS）は、無効造血や異常な造血細胞の増殖を特徴とする骨髓の腫瘍疾患です。MDSの種類は多岐にわたり、再生不良性貧血と区別が難しい症例が認められます。今回、MDSと再生不良性貧血をMRIと人工知能で区別するため、この研究を計画しました。
方法	<p>本研究の実施について、研究機関の長の許可を受けています。</p> <p>本研究は、MRI画像と診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は年齢、性別、既往歴の時期と薬剤、血液検査（白血球、赤血球、血小板、網状赤血球）です。</p> <p>（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p> <p>診療で得られたデータを使用するため、患者さんへの身体的な危険や負担はありません。</p> <p>本研究の成果は国内外での学会や論文誌上で発表します。研究成果をホームページ上に掲載し、閲覧可能とします。</p> <p>本研究は、放射線診断学研究室の運営費交付金にて賄います。利益相反はありません。</p>
試料・情報の提供機関	<p>広島赤十字・原爆病院（責任者 柿沢秀明）</p> <p>安佐市民病院（責任者名 小野千秋）</p> <p>広島西医療センター（責任者名 宮坂健司）</p> <p>呉医療センター・中国がんセンター（責任者名 豊田尚之）</p> <p>中国中央病院（責任者名 榎本和樹）</p> <p>広島大学に情報を集め広島大学（研究責任者 栗井和夫）が解析します。</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 放射線診断学研究室 教授 栗井 和夫
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

本研究に使用するデータは、画像サーバおよび病院放射線診療科の外部とは独立したパーソナルコンピュータで保管し、解析する際も外部に接続していないコンピュータを使用します。データと資料は、研究終了5年後にコンピュータ上から確実に消去します。

研究計画書・研究方法に関する資料は広島大学大学院医系科学研究科 放射線診断学研究室のホームページにて閲覧が可能です。

そのほか、不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-4597

広島大学病院 放射線診断科 診療講師 高須深雪